

平成 22 年度秋田県支部 校友会第34回同窓生の集い

平成22年7月24日(土)秋田市中通の秋田ビューホテルにおいて、「第34回同窓生の集い」が大学事務局羽生田登志次長にご出席いただき、同窓生19名が参加して開催された。

総会は、物故者に対する黙禱の後、佐藤林治会長(S41年卒)のあいさつに始まり、平成21年度会務報告及び決算報告、平成22年度事業計画及び収支予算案について審議され、満場一致で原案どおり承認された。また、役員改選(任期2年)が行われ、新会長に菅原芳孝前幹事長(S48年卒)、事務局長に嵯峨裕前幹事(S50年卒)が選出され、一部役員の交代が承認された。

研修会では、県北部家畜保健衛生所の相澤健一会員(S63年卒)から「宮崎県における口蹄疫の発生に伴う現地活動について」、秋田大学医学部付属病院の平澤裕之会員(S58年卒)から「進化を続ける臨床検査」の2題の発表があり、話題の演題でもあり活発な意見交換が行われた。

講話では、羽生田次長から資料を見ながら大学の近況、国家試験合格率に関する話題、同窓会の現況等について詳細なお話をいただきました。

懇親会は、鈴木敏規副会長(S46年卒)の乾杯で始まり、和やかな雰囲気出席者の近況報告が行われ、学生時代の昔話に花を咲かせ、同窓会の活性化や将来展望についてと話が弾んだ。原田誠三郎副会長(S45年卒)の中締めで一次会場を後にしたが、二次会にも多くの会員が出席し、羽生田次長を囲んでにぎやかな時間を過ごし、来年度の再会を期し懇親会を終了した。

最後に、大変お忙しい中ご出席いただいた羽生田次長に感謝申し上げますとともに、同窓会の益々の発展を祈念し報告とします。

(事務局： 蒔苗 修 S54年卒)

